

# あゆむ

## H26年度 介護講演会開催「認知症ケアと介護サービス」

平成26年度認知症介護講演会が12月17日(水) せいてつ記念病院大会議室において開催され、介護家族の方々、行政、介護サービス関係者等、多数参加されました。

基調講演では「認知症ケアと介護サービス」と題し、NPO 法人いわての保健福祉支援研究会理事長の富手正義さんをお招きし、日ごろ福祉施設などの調査を通して、事業所を選択する際の視点やヒントについてご講演いただきました。

講演に続き、介護サービス事業所3名と介護ご家族様1名に参加して頂きパネルディスカッションが行われました。特別養護老人ホームアミーガはまゆりの及川隆行氏からは、少人数グループに構成することにより個々のニーズや個性に対応できるユニットケアの特徴について、小規模多機能ホームやかたの松田宇善氏からは、通所、ショートステイ、ヘルパーが同じ施設の同じ職員で対応す

ることにより認知症高齢者も混乱しないよう配慮できること、地域のお祭りへの参加や商店に買い物へ行くなど楽しみを持ちながら生活されている様子をご紹介いただきました。ニチイケアセンター釜石通所事業所の前川寛氏からは、入浴拒否のある方や利用自体を拒否される方への対応方法やこれまでの生活歴、嗜好などから利用者が安心できる対応を行うことによりスムーズに利用でき、また、介護しているご家族が休養できた事例などをご紹介いただきました。

ご家族の方からは、義父を介護された経験から認知症の介護に不安だったが、ケアマネジャーや利用しているサービス事業所と連携することにより不安が軽減され、また、本人も明るい表情が見られたことなどをお話しされました。

時間いっぱい意見交換が行われ、有意義な講演会となったのではないのでしょうか。

### ミニ講座

## 徘徊について

### 1. なぜ徘徊するのか

認知症の方が当てもなく歩き回るように見える徘徊も、本人にとっては「家に帰る」「子供が帰ってこない」など、本人なりの目的や理由があり、その理由を考えてみると良い対応方法が見つかることも多い。

### 2. 徘徊への対応

- ①徘徊する原因や理由を考えて、それに合わせた対応をしてみる。
- ②声をかけて他のことに関心を向け、外出を思いとどまらせる。
- ③玄関に外出を思いとどまらせるような文面の張り紙をしておく。
- ④チャイムなどによって出て行くのをキャッチしてついて歩く。
- ⑤やむを得ない場合は、玄関、門など広い空間を確保して鍵をかける。
- ⑥地域への協力を要請する。(ご近所へ依頼、SOSネットワーク)

### 3. 徘徊に対応する便利な道具

#### ①徘徊防止センサー

ベッドから起き上がった時や玄関を出るときなどに音が鳴って介護者に知らせるもの。

#### ②GPS

GPS サービスに加入した携帯電話などを徘徊する高齢者が所持していることで、パソコン等で位置情報を確認できる。

## ★シリーズ★ 成年後見制度 第5回

成年後見人は、本人に代わり何でもできるというものではありません。例えば施設入所時の身元引受人や身元保証人は後見人としての業務の範囲外となります。また、手術等の医療行為に対する同意、遺言書を書いたり離婚や養子縁組などの一身専属の権利に関わる行為などできないことがいくつかあります。



【記事：釜石市地域包括支援センター 川崎達巳】

### ..... 活動予定 .....

☆ つどい定例会 (対象：正会員・準会員)

・1月21日(水) 13:30~15:00

※ 会場：小佐野コミュニティセンター3階

☆ 小規模定例会 (対象：正会員のみ)

・2月18日(水) 13:30~15:00

・3月18日(水) 13:30~15:00

※ 会場：小佐野コミュニティセンター1階